

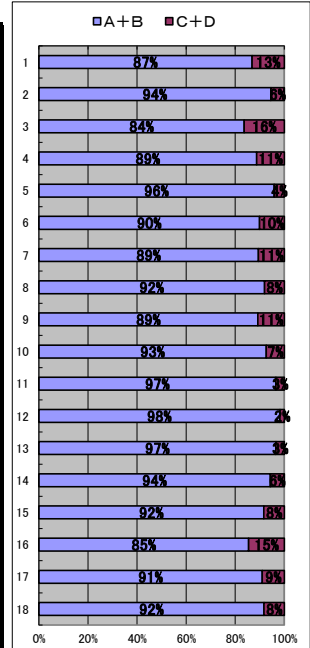
令和2年度の学校づくりに向けて —令和2年度後期学校評価結果のおしらせ—

保護者の皆様には「第五中学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。遅くなりましたが、評価の結果は下記の通りです。概ね良い評価となりましたが、更に改善が必要との結果を真摯に受けとめ、今後の学校づくりを進めてまいります。さらに、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

評価項目	評価				評価			割合		今年度前期	
	A	B	C	D	A+B	C+D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D
学習自己評価											
1 授業開始3分前に着席し、授業の準備をしている。	117	265	55	3	382	58	440	87%	13%	93%	7%
2 授業中は先生や友達の話真剣に聞いたりノートをとっていいに取ったりしている。	240	172	23	1	412	24	436	94%	6%	95%	5%
3 宿題や提出ノートを毎日提出している。	202	162	51	20	364	71	435	84%	16%	88%	12%
授業評価											
4 先生方は、チャイムとともに教室に来ている。	108	279	46	3	387	49	436	89%	11%	89%	11%
5 先生方の授業はわかりやすい。	210	207	16	2	417	18	435	96%	4%	95%	5%
6 授業では、自分の考えなどを書く場面がある。	207	185	41	3	392	44	436	90%	10%	88%	12%
7 授業では、友達と考えを話し合う場面がある。	200	189	44	2	389	46	435	89%	11%	89%	11%
生活自己評価											
8 学校での生活は楽しい。	245	156	29	6	401	35	436	92%	8%	93%	7%
9 さわやかなあいさつができています。	181	208	41	6	389	47	436	89%	11%	88%	12%
10 時間を守った生活ができています。	170	232	31	1	402	32	434	93%	7%	97%	3%
11 友達の気持ちを考えた行動をしている。	242	179	12	3	421	15	436	97%	3%	96%	4%
12 服装を整え、生活の決まりを守って生活している。	336	92	7	1	428	8	436	98%	2%	98%	2%
13 無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任を持って取り組んでいる。	319	101	14	1	420	15	435	97%	3%	98%	2%
14 生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	243	168	20	5	411	25	436	94%	6%	91%	9%
15 部活動(またはそれに代わるもの)に意欲的に取り組んでいる。	270	69	16	15	339	31	370	92%	8%	92%	8%
生活評価											
16 悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。	208	163	50	13	371	63	434	85%	15%	87%	13%
17 先生方は、生活の3重点を意識して生活している。	189	206	32	7	395	39	434	91%	9%	92%	8%
18 学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。	240	159	31	5	399	36	435	92%	8%	94%	6%
平均					396	36	平均	92%	8%	88%	12%

全校の在籍生徒数487名

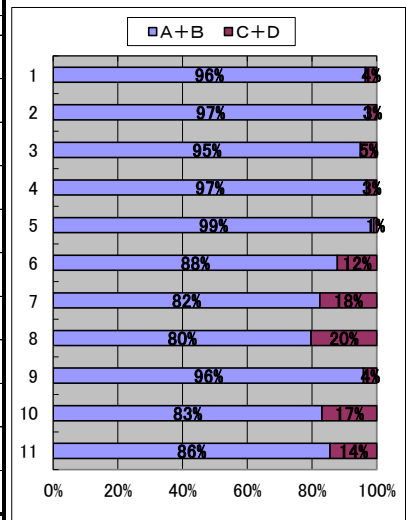


- 前期の割合と比較して、大きく割合が変化していると思われる項目はない。また、A+Bの割合が総じて高く、本校の生徒が良い状況で学校生活に取り組んでいる様子がうかがえる。
- そのような中で、項目1~3については今年度前期と比較してわずかではあるが割合が減少している。職員も意識して生徒の着席から見届ける必要がある。
- 項目16~18が今年度前期と比べてわずかに数字が低い傾向にある。この点については我々教員集団が更に努力を重ね向上させたい。
- 体罰に関して生徒の記述は無かった。

教育に関するアンケート集計(保護者)

項目	評価				割合			今年度前期	
	A	B	C	D	A+B	C+D	合計	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(学校だより、学校要覧、講話など)	124	96	7	1	228	96%	4%	97%	3%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	100	114	5	1	220	97%	3%	96%	4%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	97	112	8	3	220	95%	5%	95%	5%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	137	78	6	1	222	97%	3%	94%	6%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	141	79	2	0	222	99%	1%	97%	3%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	112	83	21	6	222	88%	12%	89%	11%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。(学校や地域で)	75	108	37	2	222	82%	18%	80%	20%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	54	123	37	8	222	80%	20%	80%	20%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	146	67	6	3	222	96%	4%	96%	4%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	130	32	5	28	195	83%	17%	81%	19%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	49	141	28	4	222	86%	14%	87%	13%
平均					220	91%	9%	90%	10%

全校の家庭数441戸

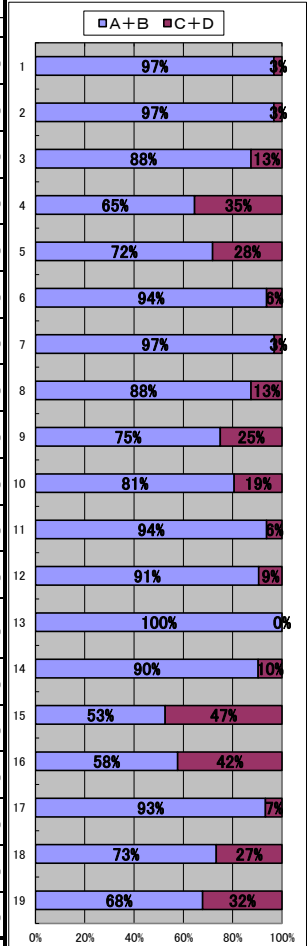


- 昨年度後期と比較して概ねA+Bの割合が向上しており、その割合も高水準であることから、本校の教育活動について概ね保護者の皆様の理解を得られているものと考えられる。
- 項目6と11のA+Bの割合が今年度前期に比べてわずかに低下している。コロナ禍で活動が制限されたこともあるが、工夫や改善が必要かと思われる。
- 体罰については生徒のアンケート同様に保護者の記述は無かった。

教育に関するアンケート集計（教職員）

回答職員数32名

領域	具体的な方策	評価					評価		割合		今年度前期	
		A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教 育 活 動	1 1時間ごとの授業や単元でのつづける力の明確化。	12	18	1	0	31	30	1	97%	3%	91%	9%
	2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	2	28	1	0	31	30	1	97%	3%	100%	0%
	3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	7	21	4	0	32	28	4	88%	13%	91%	9%
	4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見直し場面の工夫）	8	12	7	4	31	20	11	65%	35%	64%	36%
	5 自分の姿を追求するための体験を通した授業	3	20	7	2	32	23	9	72%	28%	64%	36%
	6 五中人権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	12	18	2	0	32	30	2	94%	6%	91%	9%
	7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	9	22	1	0	32	31	1	97%	3%	82%	18%
	8 意見を言い合える場の設定	8	20	4	0	32	28	4	88%	13%	91%	9%
	9 朝の読書、読書時間中の一斉読書の推進	7	14	6	1	28	21	7	75%	25%	60%	40%
	10 生活の3重点、部活動の重点の深化	8	17	5	1	31	25	6	81%	19%	90%	10%
	11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	10	20	2	0	32	30	2	94%	6%	82%	18%
	12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	10	19	3	0	32	29	3	91%	9%	82%	18%
	13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導（よ〜く観る、よ〜く聴く）	8	24	0	0	32	32	0	100%	0%	91%	9%
学 校 運 営	14 学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	14	14	2	1	31	28	3	90%	10%	100%	0%
	15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	0	10	4	5	19	10	9	53%	47%	100%	0%
	16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	6	9	8	3	26	15	11	58%	42%	91%	9%
	17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	7	21	2	0	30	28	2	93%	7%	100%	0%
	18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	6	16	7	1	30	22	8	73%	27%	64%	36%
	19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	4	15	5	4	28	19	9	68%	32%	73%	27%
		平均					25	5	80%	20%	85%	15%



○本校において大切に考えている五中人権宣言に基づいた授業の推進は、前期以上に図られたものと考えられる。また、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導においてもおおむねよくできたと思われる。

○学習指導においては、学び合う場の設定や個別の支援に課題を感じている職員の割合が高い。新教育課程の実施に向け努力していかなければならない。

○本校では10分間の朝読書を実施しているが、毎朝の学年毎の職員の打ち合わせの内容が多く、読書時間までずれ込んでしまうことも多い。この点は前期でも課題であったが改善されていない。10分間読書の効果を上げるためには、読書開始時刻正確に読書が始まっている必要がある。読書時間だけでなくその前段階まで含めて大事に考えていきたい。

○それぞれの職員が学習指導以外の様々な業務を抱えており、職員相互の授業参観や研究の時間がなかなかとれない。個々の職員が学習指導の力量を高められるよう、授業研究の時間や研修を行うことができる時間を生み出す努力をする必要がある。

＜令和2年度後期の学校評価」の集計ができましたので、つぎの6点に絞ってご報告いたします。＞

☆詳細は、上記の集計表をご覧ください

- 1 生徒の学習自己評価→学習に向かう姿勢作りと基本的な学習習慣の定着をめざす工夫をこれからも続けていきます。
 - 2 生徒の生活自己評価→楽しい学校生活を継続していくために、今後も生活の三重点を意識した生活作りに努めていきます。
 - 3 生徒の授業評価→授業の始まりを大切に、じっくり自分の考えをまとめたり、互いに話し合ったりする場を増やす工夫をします。
 - 4 保護者の学校評価→概ね本校の取り組みにご理解をいただいていると思います。さらに生徒や保護者、地域に開かれた学校作りに努めます。
 - 5 保護者の生徒の生活評価→分かり易い授業であるとともに、学びが結果に結びつく授業をめざし、授業力の向上に努めていきます。
 - 6 学校自己評価→教師自身による評価です。生徒一人一人の個性が輝き、生徒が生き生きと学べる学校を今後も目指していきたいと思ひます。
- なお、この集計結果は、学校評議員やPTA三役にもお示しし、更に「学校関係者評価」としてご意見や提言をいただいたものをまとめ、設置者である上田市教育委員会にも報告し、学校ホームページでも公開します。

☆アンケートへのご記入をいただき、ありがとうございました。